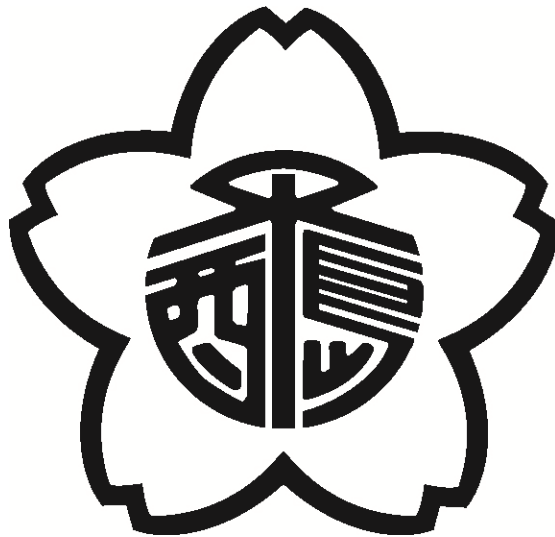


令和 7 年度

「運営に関する計画」
(中間評価)



大阪市立 西島小学校

令和 7 年 1 1 月

大阪市立西島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】では児童アンケートにおける「いじめは絶対にダメだと思う」に対して最も肯定的な回答は 80%であったが、肯定的な回答は 90%を超えている。いじめはいけないことだと思っている児童は多い。「自分には将来の夢がある」に対して肯定的な意見は 86%と指標を上回るが、高学年は否定的な意見の割合が増えている。「学校のきまりを守る」に対して肯定的な意見は 91%と高かったが、今後も日々の指導をきめ細かく行っていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】では授業検討会、授業研究会、研究討議会を年間計画通りに実施することができ、児童アンケートでは「国語が好き」と肯定的に答える児童の割合が 89%であった。今後も授業のさまざまな場面で話し合い活動の時間を設けていくとともに、より効果的な「対話的な学び」について検証していく。「運動することが好き」に対する肯定的な意見は多いので今年度も、学年の実態に応じた学習カードを活用し、運動委員会の集会時の取り組みを通して児童が興味をもち進んで運動に取り組むことができるような工夫を考えていく。

【学びを支える教育環境の充実】では学習者端末を活用する割合が昨年度の使用率から年平均 60%以上増加している。増加した要因として、全ての教科、領域の学習や連絡帳、アンケートで増えていることが挙げられる。学校教育アンケートの「読書は好きですか。」の項目において肯定的に答える児童の割合が 74%で、指標を 1%下回った。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和 7 年度の全国学力・学習状況調査、大阪市学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 92%以上にする。
- ・令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 86%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の思考・判断・表現(言語についての知識・理解・技能)に関する項目の平均正答率を、令和 3 年度より各教科で 2 ポイント増加させる。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査の「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の 50%以上にする。(R6 33.6%)
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76.5%以上にする。
- ・令和 7 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっていているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、令和 3 年度より 10 ポイント増加させる。
- ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を、令和 7 年度末に 90%にする。(R5 89.7%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(R6 75%)
- ・令和7年度の小学校学力経年調査・大阪市学力経年調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R6 84.5%)
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査・大阪市学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R6 78.1%)
- ・令和7年度の小学校学力経年調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を86%以上にする。(R6 85.8%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の思考・判断・表現(言語についての知識・理解・技能)に関する項目の平均正答率を、令和3年度より2ポイント増加させる。
(R3 国語-14.6%、算数-17.7%)
- ・令和7年度の大阪市学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。(R6 3年のみ達成)
- ・令和7年度の大阪市学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。
(R6 63%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。(R6 33.6%)
- ・令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76.5%以上にする。(R6 74%)
- ・令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、令和3年度より10ポイント増加させる。(R3 59%)
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を、令和7年度末に90%にする。(R5 89.7%)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立西島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ・令和7年度の全国学力・学習状況調査・大阪市学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(R6 75%) ・令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。(R6 84.8%) ・令和7年度の全国学力・学習状況調査・大阪市学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R6 78.1%) ・令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について肯定的に答える児童の割合を86%以上にする。(R6 85.8.%)	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 学校教育活動のあらゆる機会を捉えて、互いに違いを理解し認め合うこと、「自分はかけがえのない存在である」、いじめはどんなことがあっても絶対に許さないとすべての児童が実感できる人間関係づくりを構築し、いじめを許さない児童を育む。各学期にいじめを考える週間を設定するとともに、日々の生活の中でもいじめに繋がる言動には指導と啓発を行い、いじめの定義についても児童に伝えるようにする。	C
指標 令和7年度小学校全国学力・学習状況調査・校内調査の「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 学校教育活動のあらゆる機会を捉えて、生活規律や学習規律を重んじ、互いに意識を高めあいながらきまりを守る児童を育む。きまりを守ることで、児童一人ひとりが気持ちよく学校生活を送れるように支援を行う。校内の掲示物や児童朝会の講話等で、児童に対しての啓発を行っていく。児童の実態について職員同士で定期的に共通理解を図り学校のきまりについて児童が守りやすいように改定する。	B
指標 令和7年度小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりをしっかりと守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 日々の学校生活において、一人ひとりが互いのよさを認め合った上で、自分や友だちの長所や進歩、頑張りなどを認め、自分への肯定的な気付きを促していく。また他者と	

<p>かかわる中で、自分のよさに気付かせる。児童に対して明るい挨拶や人権を尊重した名前の呼び方をするなど、児童の長所や努力している姿を積極的に探し、本人や周りに伝えていく。頑張ったときや何かができた時には積極的にほめるなどの声掛けをこまめに行うようにする。</p>	
<p>指標 令和7年度小学校全国学力・学習状況調査・校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	B
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 職場講話・職場見学・職場体験等、職業に関連したキャリア教育を充実させ、児童が教育活動の中で多様な活動ができるよう取り組みを進める。 スポーツや生産活動、ICTに関連する事柄など様々な社会活動の取り組みを児童に紹介できるよう、職員間で情報を共有する。</p>	
<p>指標 令和7年度小学校学力経年調査・校内調査の「自分には将来の夢や目標がありますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を86%以上にする。</p>	C
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>① 昨年度まで年に一回実施していた「いじめ・いのちについて考える週間」を今年度より学期に一回と回数を増やして実施しているところである。道徳科でいのちに関連するテーマの教材に取り組んだり、児童朝会でいじめ・いのちに関する講話をしたりする取り組みを行った。しかし、学校アンケートの結果では、最も肯定的に回答する児童が80%と指標の90%以上には到達できていない。</p> <p>② 校内アンケートの結果では、肯定的な回答が全体で76%と指標の86%に到達できていないが、学年ごとの結果では指標の割合を達成できている。(1年:97%、2年:93%、3年:87%、4年:92%、5年:86%、6年:90%)</p> <p>③ 校内アンケートでは、目標の85%以上を達成している学年にばらつきが見られる。主に低学年で目標を大きく上回っており、取り組みとして終わりの会で「今日のすてきさん」を発表する時間を設け、児童が互いの頑張り等を認め、自分や友だちのよさに気付くことができるようにしている学年もある。(1年:98%、2年:96%、3年:89%、4年:81%、5年:76%、6年:86%)</p> <p>④ キャリア教育については、出前授業等が昨年度と比較してあまり実施できていない。特に低学年では、まったく実施できていない学年も多い。校内調査の結果でも、肯定的な回答が全体で85%と目標の86%に到達できていない。(1年:85%、2年:92%、3年:88%、4年:87%、5年:82%、6年:86%)</p>	
<p>今後の改善点</p>	
<p>① 児童がいじめについて自分事として考える機会を持ち、いじめはどんな理由があっても許されるものではないという意識を深めることができた際にアンケートを実施することが望ましい。そのため2学期の「いじめいのちについて考える週」を経年調査の実施前に設定したい。また低学年についても、「いじめ・いのちについて考える週」で学習したことを踏まえて校内アンケートを実施できるようにしたい。</p> <p>② 学校のきまりについて、校内で統一した指導を行えるように、生活指導部で連絡や相談を行い、会議等の機会に教職員間で共通理解できるようにしてきた。今後も継続して行うとともに、学校のきまりを守ることができていない場合は、朝会の時間に児童全体にきまりの意義等を伝えることで、児童自身が考えてきまりを守ることができるようにする。</p> <p>③ 日々の学校生活で児童自身が自分のよさに気づき、自己肯定感を高められるように、教職員やまわりの友だちが頑張りを見て褒めたり、励ましたりする肯定的な声かけが</p>	

必要となる。また、学校に来づらい児童についても、家庭や関係機関と連携を取り合うことで登校する姿を見られた際には、温かい声かけを行っていくことを継続したい。

- ④ 児童が様々な社会活動に触れ、将来の夢や目標に繋げられるようにする。そのために職業に関連した出前授業を各学年に案内することでキャリア教育を充実させるようにする。

大阪市立西島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の思考・判断・表現(言語についての知識・理解・技能)に関する項目の平均正答率を、令和 3 年度より 2 ポイント増加させる。 (R3 国語-14.6%、算数-17.7%) ・令和 7 年度の大阪市学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。(R6 28.6%) ・令和 7 年度の大阪市学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 70%以上にする。(R6 69%)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 今年度の校内の研究教科を国語科に設定し、計画的に指導案検討会・授業研究会・研究討議会を実施したり、必要に応じてスクールアドバイザーをお招きしての研修会を持ったりしながら、児童にとって分かりやすい指導法について全校をあげて研究を進めていく。	A
指標 令和 7 年度の単元テスト(国語科)の思考・判断・表現に関する項目の平均正答率を前年度より上回る。	
取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 今年度の校内の研究の視点の 1 つに「対話的な学び」を掲げ、児童が自分の考えを深めたり広めたりできるようにするための効果的なペア学習、グループ学習のあり方について研究を進めていく。	A
指標 令和 7 年度の校内調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の管理】 各学年学習カードを活用して体育の授業を行い、児童が進んで取り組むことができるようにする。また、年に 2 回、運動委員会が集会の時に、技がうまくできるコツや難しい技を紹介することで、児童が興味をもち、進んで運動に取り組むことができるようにする。	C
指標 令和 7 年度の校内調査「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 70%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① R6年度の1学期単元テスト（国語科、3～6年）の思考判断表現に関する項目の平均点が78.3点、本年度が81.3点と、指標を上回っている。5月に、今年度の校内の研究について職員会議で共通理解を図ったり、スクールアドバイザーをお招きし、説明文についての指導法の基本について学んだりしてきた。また、これまで3年生、5年生による授業検討会、授業研究会、研究討議会を実施し、児童にとって分かりやすい指導法についての研究を、計画通りに進めているところである。
- ② R7前期校内児童アンケート内の対話的な学びに関する項目の集計結果では、最も肯定的に回答する割合が45%と、指標の35%を上回っている。各学年が意識して、授業のさまざまな場面で話し合う活動に取り組むことで、児童が自分の考えを深めたり広げたりすることができる場面が増えてきている。
- ③ R7前期校内児童アンケート内の「運動をすることが好きですか」の項目の集計結果では、最も肯定的に回答する割合が54%と、指標を下回っている。体育の時間を楽しみにしていたり、休み時間は外で遊んだりしている児童は多いが、気温が非常に高い日が多いことで、外に出ることをためらったり、嫌がったりする児童もいると考える。体育では、学年の実態に応じた学習カードを作成、活用しながら学習に取り組んでいるところである。

今後の改善点

- ① 2年生、1年生、4年生の授業研究会を予定している。今後も授業研究会を中心に取組みながら、児童にとって分かりやすい指導法について研究を進めていく。
- ② 今後も継続して、授業のさまざまな場面で話し合い活動の時間を設けていく。
- ③ 今後も学年の実態に応じた学習カードを活用したり、運動委員会が集会時にいろんな技がうまくできるコツや難しい技を紹介したりする取り組みを通して児童が興味をもち、進んで運動に取り組むことができるようにしていく。また、暑さが和らいでいくことで、外で遊ぼうとする児童も増えてくるのではないかと考える。

大阪市立西島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業日において児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の 50%以上にする。(R6 33.6%) ・令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76.5%以上にする。(R6 66.8%) ・令和 7 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、令和 3 年度より 10 ポイント増加させる。(R3 59%) ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を、令和 7 年度末に 90%にする。(R5 89.7%) 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6. 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 スクールライフノートの「心の天気」やデジタルドリルなどを毎日取り組み、1 日 1 回以上学習者用端末を活用する。3・4・5・6 年生は、端末を持ち帰る日を設定して、家庭でもデジタルコンテンツに取り組んでいけるようにする。	C
指標 授業日において児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の 34%以上にする。	
取組内容②【8. 生涯学習の支援】 朝の読書タイムや定期的な読書週間を設定したり、火曜日 15 分休み・昼休みの図書館開放・図書委員の読み聞かせ活動・外部機関のお話会などを行ったりすることで、児童が本に親しみ、読書する習慣を身につけられるようにする。また多くの本が読めるように学級文庫や図書の蔵書の充実を図る。	B
指標 令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76.5%以上にする。	
取組内容③【9. 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】 学校だよりや学年だよりを定期的に発行したり、学校ホームページに児童の日々の活動をアップしたりして、学校の取り組みや児童の様子を家庭・地域に発信していく。	A
指標 令和 7 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、令和 3 年度より 10 ポイント増加させる。	
取組内容④【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員が分担して仕事を行えるように校務分掌を見直し、一人ずつの仕事量の軽減に努める。また、教職員が部会などのチームで動くようにすることで、教職員のつながりを深め、ストレスのためにくい職場にしていけるようにする。	A

指標	第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を、令和7年度末に90%にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<p>① 授業日において児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数の月ごとの割合が5月35%、6月15%、7月30.8%であった。目標を上回った月が1月あったが、平均すると下回っている。</p> <p>② 前期学校アンケートにおいて、90%の肯定的な意見であった。また、全国学力・学習状況調査においても学校平均が大阪府平均より上回っている。</p> <p>③ 前期の保護者アンケートで肯定的に答える保護者の割合は87%であった。(最も肯定的12%、肯定的75%)。</p> <p>④ 基準2を満たす教職員の割合は現在96%である。(時間外労働月平均80時間以上の教員が1名、1か月の時間外労働が45時間以上の教職員が平均5名程度いる状況である。)</p>		
今後の改善点		
<p>① 心の天気の入力や各学年に応じて学習活動において学習者用端末をできる限り毎日使用できるように取り組む。</p> <p>② 今後も図書委員会で図書館開放をするとともに、外部の団体を招いた読み聞かせや3年生において絵本作家を招いた授業を行うなどして児童が読書に親しめるようにする。</p> <p>③ 学校行事などで引き続き、PTAや地域の方がと協力して教育活動に取り組む。</p> <p>④ 指標は満たしている。しかし個々でみると改善されていないところがある。全教職員が1か月の時間外労働時間45時間未満になるように仕事内容を見直すとともに、遅くても7時には学校を閉めることを目指す。</p>		

1 総括についての評価

--

年度目標：

--

年度目標：

--

-
-
-
-

--